

# GA-J1800N-D2H GA-J1900N-D2H

## ユーザーズマニュアル

改版 1101

12MJ-J180D2H-1101R

GA-J1800N-D2H



GA-J1900N-D2H



### Declaration of Conformity

We, Manufacturer/Importer,

G.B.T. Technology Trading GmbH

Address: **Bullenkoppel 16, 22047 Hamburg, Germany**

Declare that the product

Product Type: **Motherboard**

Product Name: **GA-J1800N-D2H**

**GA-J1900N-D2H**

conforms with the essential requirements of the following directives:

**2004/108/EC EMC Directive:**

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Conduction & Radiated Emissions: | EN 55022:2010             |
| <input checked="" type="checkbox"/> Immunity:                        | EN 55024:2010             |
| <input checked="" type="checkbox"/> Power-line harmonics:            | EN 61000-3-2:2006+A2:2009 |
| <input checked="" type="checkbox"/> Power-line flicker:              | EN 61000-3-3:2008         |

**2006/95/EC LVD Directive**

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Safety: | EN60950-1:2006+A12:2011 |
|---|-------------------------|

**2011/65/EU RoHS Directive**

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> Restriction of use of certain substances in electronic equipment: | This product does not contain any of the restricted substances listed in Annex II, in concentrations and applications banned by the directive. |
|---|--|

**CE marking**

CE

Signature: Timmy Huang

(stamp)

Date: May 16, 2014

Name: Timmy Huang

### DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2.1077(a)



Responsible Party Name: **G.B.T. INC. (U.S.A.)**

Address: **17358 Railroad Street**

**City of Industry, CA 91748**

**Phone/Fax No: (626) 854-9338/ (626) 854-9326**

hereby declares that the product

**Product Name: Motherboard**

**Model Number: GA-J1800N-D2H**

**GA-J1900N-D2H**

Conforms to the following specifications:

FCC Part 15, Subpart B, Section 15.107(a) and Section 15.109 (a), Class B Digital Device

**Supplementary Information:**

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful and (2) this device must accept any interference received, including that may cause undesired operation.

Representative Person's Name: ERIC LU

Signature: Eric Lu

Date: May 16, 2014

## 著作権

© 2014 GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD. 版權所有。

本マニュアルに記載された商標は、それぞれの所有者に対して法的に登録されたものです。

## 免責条項

このマニュアルの情報は著作権法で保護されており、GIGABYTE に帰属します。

このマニュアルの仕様と内容は、GIGABYTE により事前の通知なしに変更されることがあります。

本マニュアルのいかなる部分も、GIGABYTE の書面による事前の承諾を受けることなしには、いかなる手段によっても複製、コピー、翻訳、送信または出版することは禁じられています。

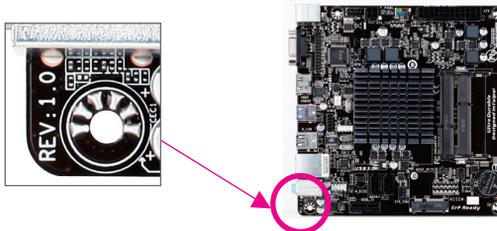
- 本製品を最大限に活用できるように、ユーザーズマニュアルをよくお読みください。
- 製品関連の情報は、以下の Web サイトを確認してください：

<http://www.gigabyte.jp>

## マザーボードリビジョンの確認

マザーボードのリビジョン番号は「REV: X.X.」のように表示されます。例えば、「REV: 1.0」はマザーボードのリビジョンが 1.0 であることを意味します。マザーボード BIOS、ドライバを更新する前に、または技術情報をお探しの際は、マザーボードのリビジョンをチェックしてください。

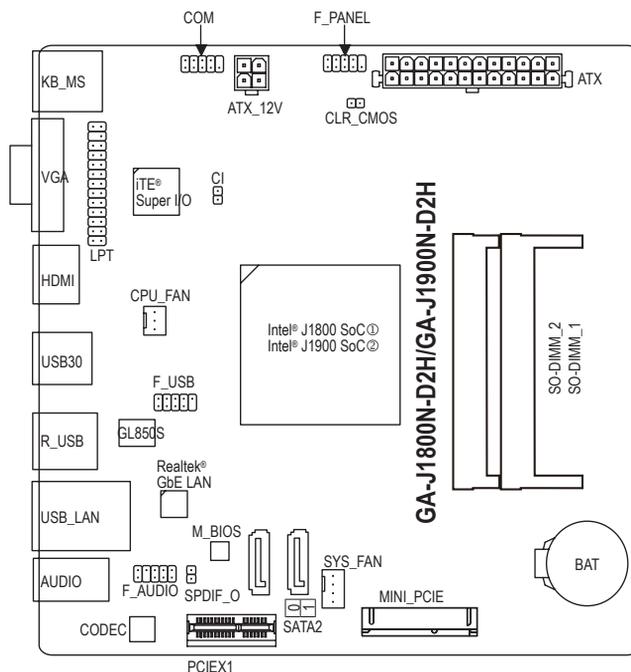
例：



# 目次

GA-J1800N-D2H/GA-J1900N-D2H マザーボードのレイアウト.....	4
GA-J1800N-D2H/GA-J1900N-D2H マザーボードブロック図.....	5
<b>第 1 章</b> ハードウェアの取り付け .....	6
1-1 取り付け手順.....	6
1-2 製品の仕様 .....	7
1-3 メモリの取り付け .....	9
1-4 拡張カードを取り付ける.....	9
1-5 背面パネルのコネクター.....	9
1-6 内部コネクター .....	11
<b>第 2 章</b> BIOS セットアップ .....	17
2-1 起動画面.....	17
2-2 メインメニュー .....	18
2-3 Advanced (アドバンスド).....	19
2-4 Chipset (チップセット).....	23
2-5 Security (セキュリティ).....	24
2-6 Boot.....	25
2-7 Save & Exit (保存して終了).....	27
<b>第 3 章</b> 付録 .....	28
ドライバのインストール .....	28
規制声明.....	29
連絡先.....	32

## GA-J1800N-D2H/GA-J1900N-D2H マザーボードのレイアウト



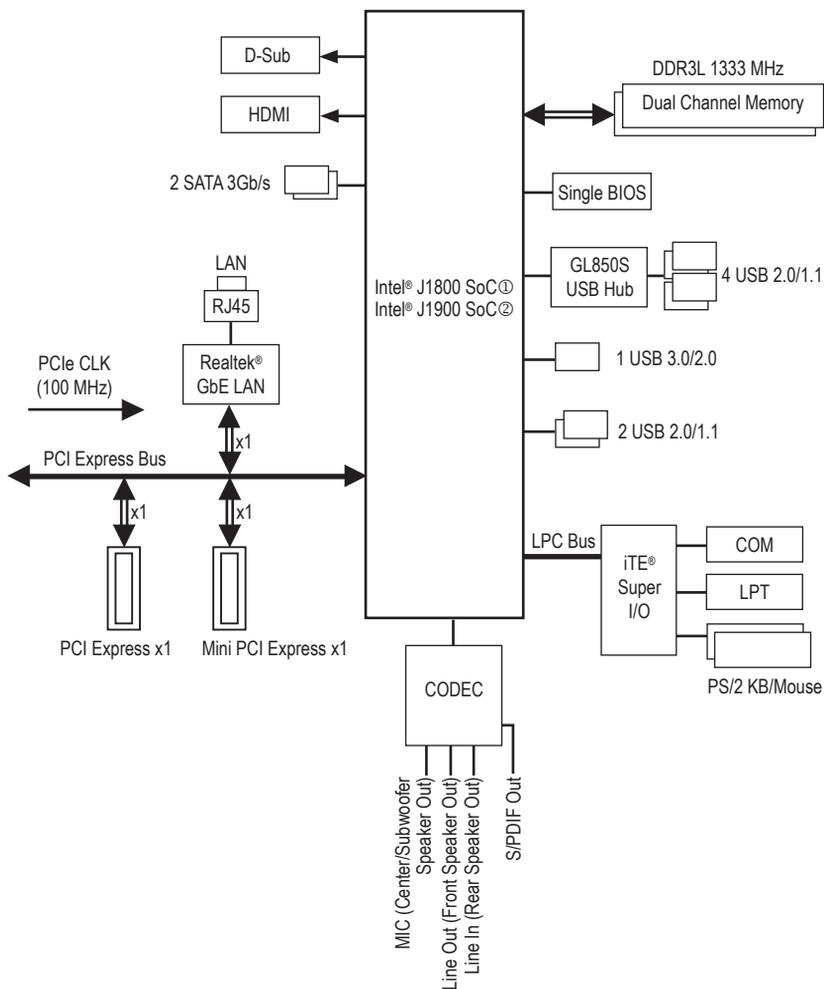
### ボックスの内容

- GA-J1800N-D2HまたはGA-J1900N-D2Hマザーボード
- マザーボードドライバディスク
- SATA ケーブル (x2)
- ユーザーズマニュアル
- I/O シールド

上記、ボックスの内容は参照用となります。実際の同梱物はお求めいただいた製品パッケージにより異なる場合があります。また、ボックスの内容については、予告なしに変更する場合があります。

- ① GA-J1800N-D2Hのみ。
- ② GA-J1900N-D2Hのみ。

## GA-J1800N-D2H/GA-J1900N-D2H マザーボードブロック図



- ① GA-J1800N-D2Hのみ。
- ② GA-J1900N-D2Hのみ。



製品の情報/制限の詳細は、「1-2 製品の仕様」を参照してください。

## 第1章 ハードウェアの取り付け

### 1-1 取り付け手順

マザーボードには、静電放電 (ESD) の結果、損傷する可能性のある精巧な電子回路やコンポーネントが数多く含まれています。取り付ける前に、ユーザーズマニュアルをよくお読みになり、以下の手順に従ってください。

- 取り付け前に、PCケースがマザーボードに適していることを確認してください。
- 取り付ける前に、マザーボードの S/N (シリアル番号) ステッカーまたはディーラーが提供する保証ステッカーを取り外したり、はがしたりしないでください。これらのステッカーは保証の確認に必要です。
- マザーボードまたはその他のハードウェアコンポーネントを取り付けたり取り外したりする前に、常にコンセントからコードを抜いて電源を切ってください。
- ハードウェアコンポーネントをマザーボードの内部コネクタに接続しているとき、しっかりと安全に接続されていることを確認してください。
- マザーボードを扱う際には、金属リード線やコネクタには触れないでください。
- マザーボード、CPU またはメモリなどの電子コンポーネントを扱うとき、静電放電 (ESD) リストストラップを着用することをお勧めします。ESD リストストラップをお持ちでない場合、手を乾いた状態に保ち、まず金属に触れて静電気を取り除いてください。
- マザーボードを取り付ける前に、ハードウェアコンポーネントを静電防止パッドの上に置くか、静電遮断コンテナの中に入れてください。
- マザーボードから電源装置のケーブルを抜く前に、電源装置がオフになっていることを確認してください。
- パワーをオンにする前に、電源装置の電圧が地域の電源基準に従っていることを確認してください。
- 製品を使用する前に、ハードウェアコンポーネントのすべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
- マザーボードの損傷を防ぐために、ネジがマザーボードの回路やそのコンポーネントに触れないようにしてください。
- マザーボードの上またはコンピュータのケース内部に、ネジや金属コンポーネントが残っていないことを確認してください。
- コンピュータシステムは、平らでない面の上に置かないでください。
- コンピュータシステムを高温環境で設置しないでください。
- 取り付け中にコンピュータのパワーをオンにすると、システムコンポーネントが損傷するだけでなく、ケガにつながる恐れがあります。

## 1-2 製品の仕様

	CPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Intel®デュアルコアCeleron® J1800 SoC (2.41GHz)が組み込まれています①</li> <li>◆ Intel®クアッド・コアCeleron® J1900 SoC (2.0 GHz)が組み込まれています②             <ul style="list-style-type: none"> <li>* SoC用ヒートシンクは取り外さないで下さい。マザーボードの故障の原因になることがあります。</li> </ul> </li> <li>◆ 1 MB キャッシュ①</li> <li>◆ 2 MB キャッシュ②</li> </ul>
	メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 最大8GBのシステムメモリをサポートする1.35VDDR3LDIMMソケット(x2)             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1枚のみでDDR3Lメモリーモジュールを使用する場合は、SODIMM_1ソケットを使用して下さい。</li> </ul> </li> <li>◆ デュアルチャンネルメモリ対応</li> <li>◆ DDR3L 1333 MHz メモリモジュールのサポート</li> <li>◆ 非 ECC メモリモジュールのサポート</li> </ul>
	オンボードグラフィックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ SoCによって統合されています：             <ul style="list-style-type: none"> <li>- D-Subポート(x1)、2560x1600の最大解像度をサポートします。</li> <li>- HDMIポート(x1)、1920x1080の最大解像度をサポートします。</li> </ul> </li> </ul>
	オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Realtek® ALC887 コーデック</li> <li>◆ ハイディフィニションオーディオ</li> <li>◆ 2/4/5.1/7.1 チャンネル             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 7.1チャンネルオーディオを有効にするには、HDフロントパネルオーディオモジュールを使用して、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。</li> </ul> </li> <li>◆ S/PDIFアウトのサポート</li> </ul>
	LAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Realtek® GbE LAN チップ (10/100/1000 Mbit)</li> </ul>
	拡張スロット	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ PCI Express x1 スロット (x1)</li> <li>◆ Mini PCI Express x1 スロット (x1)             <ul style="list-style-type: none"> <li>* このソケットは、USBのBluetooth信号をサポートしていません。(PCI Express x1スロットはPCI Express 2.0規格に準拠しています。)</li> </ul> </li> </ul>
	ストレージインターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ SoC：             <ul style="list-style-type: none"> <li>- SATA 3Gb/s コネクタ (x2)</li> </ul> </li> </ul>
	USB	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ SoC：             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 背面パネルに1つのUSB 3.0/2.0 ポート</li> </ul> </li> <li>◆ SoC + GL850S USB2.0 ハブ：             <ul style="list-style-type: none"> <li>- USB 2.0/1.1ポート (x6) (背面パネルに4つのポート、内部USBヘッダーを通して2ポートが使用可能)</li> </ul> </li> </ul>
	内部コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 24 ピン ATX メイン電源コネクタ (x1)</li> <li>◆ 4 ピン ATX 12V 電源コネクタ (x1)</li> <li>◆ SATA 3Gb/s コネクタ (x2)</li> <li>◆ USB 2.0/1.1 ヘッダ (x1)</li> <li>◆ CPU ファンヘッダ (x1)</li> <li>◆ システムファンヘッダ (x1)</li> <li>◆ 前面パネルヘッダ (x1)</li> <li>◆ 前面パネルオーディオヘッダ (x1)</li> <li>◆ シリアルポートヘッダ (x1)</li> <li>◆ パラレルポートヘッダ (x1)</li> <li>◆ S/PDIF アウトヘッダ (x1)</li> </ul>

① GA-J1800N-D2Hのみ。

② GA-J1900N-D2Hのみ。

 内部コネクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ CMOSクリアジャンパ (x1)</li> <li>◆ PCケース開閉感知用ヘッダ (x1)</li> </ul>
 背面パネルのコネクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ PS/2 キーボードポート (x1)</li> <li>◆ PS/2 マウスポート (x1)</li> <li>◆ D-Subポート (x1)</li> <li>◆ HDMIポート (x1)</li> <li>◆ USB 3.0/2.0ポート (x1)</li> <li>◆ USB 2.0/1.1ポート (x4)</li> <li>◆ RJ-45ポート (x1)</li> <li>◆ オーディオジャック (x3) (ラインイン、ラインアウト、マイクイン)</li> </ul>
 I/O コントローラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ iTE® I/O コントローラーチップ</li> </ul>
 ハードウェアモニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ システム電圧の検出</li> <li>◆ CPU/システム温度検出</li> <li>◆ CPU/システムファン速度検出</li> <li>◆ CPU/システムファン速度制御</li> </ul> <p>* ファン速度コントロール機能のサポートについては、取り付けたクーラーによって異なります。</p>
 BIOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 64 Mbit フラッシュ (x1)</li> <li>◆ 正規ライセンス版AMI UEFI BIOSを搭載</li> <li>◆ PnP 1.0a, DMI 2.7, WfM 2.0, SM BIOS 2.7, ACPI 5.0</li> </ul>
 独自機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ @BIOS のサポート</li> <li>◆ Xpress Install のサポート</li> <li>◆ APP Center のサポート</li> </ul> <p>* App Center で使用可能なアプリケーションは、マザーボードのモデルによって異なります。各アプリケーションのサポート機能もマザーボードのモデルによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ON/OFF Charge のサポート</li> </ul>
 バンドルされたソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Norton® インターネットセキュリティ (OEM バージョン)</li> <li>◆ Intel® Smart Connect Technology</li> </ul>
 オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Windows 8.1/8/7 のサポート</li> </ul>
 フォームファクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Mini-iTXフォームファクタ、17.0cm x 17.0cm</li> </ul>

\* GIGABYTE は、予告なしに製品仕様と製品関連の情報を変更する場合があります。

\* GIGABYTE の Web サイトにある **Support & Downloads\Utility** ページにアクセスし、「独自機能」と「バンドルされたソフトウェア」の欄にリストされたソフトウェアがサポートするオペレーティングシステムをご確認ください。

### 1-3 メモリの取り付け



メモリを取り付ける前に次のガイドラインをお読みください:

- マザーボードがメモリをサポートしていることを確認してください。同じ容量、ブランド、速度、およびチップのメモリをご使用になることをお勧めします。
- ハードウェアが損傷する原因となるため、メモリを取り付ける前に必ずコンピュータのパワーをオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。
- メモリモジュールは取り付け位置を間違えぬようにノッチが設けられています。メモリモジュールは、一方向にしか挿入できません。メモリを挿入できない場合は、方向を変えてください。

#### デュアルチャンネルのメモリ設定

このマザーボードには 2つの DDR3L メモリソケットが装備されており、デュアルチャンネルテクノロジーをサポートします。メモリを取り付けた後、BIOS はメモリの仕様と容量を自動的に検出します。2つの DDR3L メモリソケットが2つのチャンネルに分けられ、各チャンネルには次のように1つのメモリソケットがあります:

- ▶ チャンネルA:SODIMM\_1
- ▶ チャンネルB:SODIMM\_2

SoC制限により、デュアルチャンネルモードでメモリを取り付ける前に次のガイドラインをお読みください。

- 1枚のみでDDR3Lメモリーモジュールを使用する場合は、SODIMM 1ソケットを使用して下さい。1枚のみで使用する場合は、デュアルチャンネルモードを有効にすることは出来ません。
- 2つのメモリーモジュールでデュアルチャンネルモードを有効にしているとき、最適のパフォーマンスを発揮するために同じ容量、ブランド、速度、チップのメモリを使用するようにお勧めします。

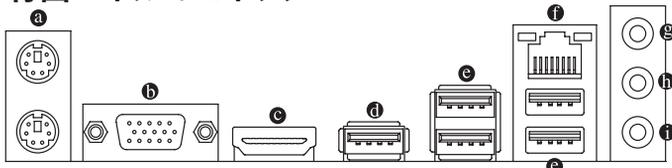
### 1-4 拡張カードを取り付ける



拡張カードを取り付ける前に次のガイドラインをお読みください:

- 拡張カードがマザーボードをサポートしていることを確認してください。拡張カードに付属するマニュアルをよくお読みください。
- ハードウェアが損傷する原因となるため、拡張カードを取り付ける前に必ずコンピュータのパワーをオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。

### 1-5 背面パネルのコネクター



#### a PS/2キーボード/マウスポート

PS/2 マウスを上部ポート (緑) に、PS/2 キーボードを下部ポート (紫) に接続します。

#### b D-Sub ポート

D-SubポートはD-Sub仕様準拠しており、2560x1600の最大解像度をサポートします。(サポートされる実際の解像度は使用されるモニターによって異なります。)D-Sub接続をサポートするモニターはこのポートに接続してください。

#### c HDMI ポート

**HDMI**™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMIポートはHDCPに対応し、ドルビー True HD および DTS HD マスターオーディオ形式をサポートしています。最大 192KHz/24 ビットの 8チャンネル LPCM オーディオ出力もサポートします。このポートを使用して、HDMIをサポートするモニターに接続します。サポートする最大解像度は 1920x1080 ですが、サポートする実際の解像度は使用するモニターに依存します。



HDMI機器を設置後、必ずデフォルトの音声再生機器をHDMIに設定してください。(項目名は、オペレーティングシステムによって異なります。)

## オンボードグラフィックスによるデュアルディスプレイ構成:

マザーボードに付属されているドライバーでインストールすると、デュアルディスプレイ構成はサポートされます。BIOSのセットアップ時やPOSTの処理時はインストールはしないで下さい。

### ④ USB 3.0/2.0 ポート

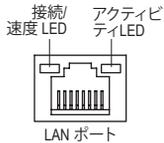
USB 3.0 ポートは USB 3.0 仕様をサポートし、USB 2.0/1.1 仕様と互換性があります。USB キーボード/マウス、USB プリンタ、USB フラッシュドライブなどの USB デバイスの場合、このポートを使用します。

### ⑤ USB 2.0/1.1 ポート

USB ポートは USB 2.0/1.1 仕様をサポートします。USB キーボード/マウス、USB プリンタ、USB フラッシュドライブなどの USB デバイスの場合、このポートを使用します。

### ⑥ RJ-45 LAN ポート

Gigabit イーサネット LAN ポートは、最大 1 Gbps のデータ転送速度のインターネット接続を提供します。以下は、LAN ポート LED の状態を表します。



接続/速度 LED:

状態	説明
オレンジ	1 Gbps のデータ転送速度
緑	100 Mbps のデータ転送速度
オフ	10 Mbps のデータ転送速度

アクティビティ LED:

状態	説明
点滅	データの送受信中です
オフ	データを送受信していません

### ⑨ ラインイン (青)

ラインインジャックです。光ドライブ、ウォークマンなどのデバイスのラインインの場合、このオーディオジャックを使用します。

### ⑩ ラインアウト (緑)

ラインアウトジャックです。ヘッドフォンまたは 2 チャンネルスピーカーの場合、このオーディオジャックを使用します。このジャックは 4/5.1/7.1 チャンネルのオーディオ構成でフロントスピーカーを接続するために使用することができます。

### ⑪ マイクイン (ピンク)

マイクインジャックです。マイクは、このジャックに接続する必要があります。

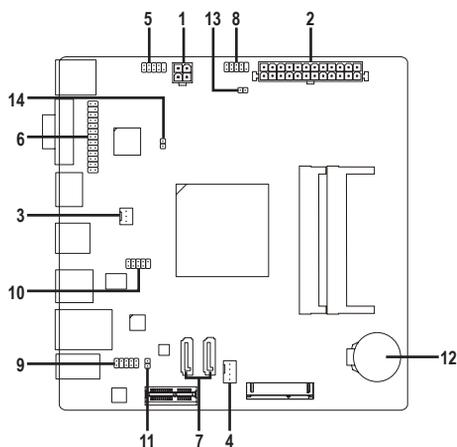


7.1チャンネルオーディオを有効にするには、HDフロントパネルオーディオモジュールを使用して、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。



- 背面パネルコネクタに接続されたケーブルを取り外す際は、先に周辺機器からケーブルを取り外し、次にマザーボードからケーブルを取り外します。
- ケーブルを取り外す際は、コネクタから真っ直ぐに引き抜いてください。ケーブルコネクタ内部でショートする原因となるので、横に揺り動かさないでください。

## 1-6 内部コネクター



1) ATX_12V	8) F_PANEL
2) ATX	9) F_AUDIO
3) CPU_FAN	10) F_USB
4) SYS_FAN	11) SPDIF_O
5) COM	12) BAT
6) LPT	13) CLR_CMOS
7) SATA2 0/1	14) CI



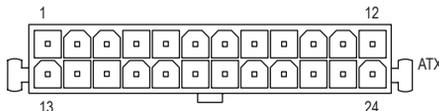
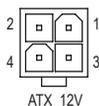
外部デバイスを接続する前に、以下のガイドラインをお読みください：

- まず、デバイスが接続するコネクターに準拠していることを確認します。
- デバイスを取り付ける前に、デバイスとコンピュータのパワーがオフになっていることを確認します。デバイスが損傷しないように、コンセントから電源コードを抜きます。
- デバイスを装着した後、コンピュータのパワーをオンにする前に、デバイスのケーブルがマザーボードのコネクターにしっかり接続されていることを確認します。

## 1/2) ATX\_12V/ATX (2x2 12V 電源コネクタと 2x12 メイン電源コネクタ)

電源コネクタを使用すると、電源装置はマザーボードのすべてのコンポーネントに安定した電力を供給することができます。電源コネクタを接続する前に、まず電源装置のパワーがオフになっていること、すべてのデバイスが正しく取り付けられていることを確認してください。電源コネクタは、正しい向きでしか取り付けができないように設計されています。電源装置のケーブルを正しい方向で電源コネクタに接続します。

12V 電源コネクタは、主に CPU に電力を供給します。12V 電源コネクタが接続されていない場合、コンピュータは起動しません。



ATX\_12V:

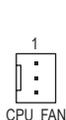
ピン番号	定義
1	GND
2	GND
3	+12V
4	+12V

ATX:

ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	3.3V	13	3.3V
2	3.3V	14	-12V
3	GND	15	GND
4	+5V	16	PS_ON (ソフト オン/オフ)
5	GND	17	GND
6	+5V	18	GND
7	GND	19	GND
8	電源良好	20	-5V
9	5VSB (スタンバイ +5V)	21	+5V
10	+12V	22	+5V
11	+12V (2x12 ピン ATX 専用)	23	+5V (2x12 ピン ATX 専用)
12	3.3V (2x12 ピン ATX 専用)	24	GND (2x12 ピン ATX 専用)

## 3/4) CPU\_FAN/SYS\_FAN (ファンヘッダ)

マザーボードには、3 ピン CPU ファンヘッダ (CPU\_FAN) と 4 ピンシステムファンヘッダ (SYS\_FAN) が搭載されています。ほとんどのファンヘッダは、誤挿入防止設計が施されています。ファンケーブルを接続するとき、正しい方向に接続してください(黒いコネクタワイヤはアース線です)。速度コントロール機能を有効にするには、ファン速度コントロール設計のファンを使用する必要があります。最適の放熱を実現するために、PCケース内部にシステムファンを取り付けることをお勧めします。



ピン番号	定義
1	GND
2	速度制御
3	検知



ピン番号	定義
1	GND
2	速度制御
3	検知
4	VCC



- システムを過熱から保護するために、ファンケーブルをファンヘッダに接続していることを確認してください。冷却不足はシステムがハングアップする原因となります。
- これらのファンヘッダは設定ジャンプブロックではありません。ヘッダにジャンパキャップをかぶせないでください。

### 5) COM (シリアルポートヘッダ)

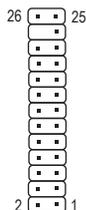
COM ヘッダは、オプションの COM ポートケーブルを介して 1 つのシリアルポートを提供します。オプションの COM ポートケーブルを購入する場合、販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	NDCD-	6	NDSR-
2	NSIN	7	NRTS-
3	NSOUT	8	NCTS-
4	NDTR-	9	NRI-
5	GND	10	ピンなし

### 6) LPT (パラレルポートヘッダ)

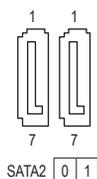
LPTヘッダは、オプションのLPTポートケーブルによって1つのパラレルポートを利用できます。オプションのLPTポートケーブルを購入する場合、販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義	ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	STB-	10	GND	19	ACK-
2	AFD-	11	PD4	20	GND
3	PD0	12	GND	21	BUSY
4	ERR-	13	PD5	22	GND
5	PD1	14	GND	23	PE
6	INIT-	15	PD6	24	ピンなし
7	PD2	16	GND	25	SLCT
8	SLIN-	17	PD7	26	GND
9	PD3	18	GND		

### 7) SATA2 0/1 (SATA 3Gb/sコネクタ)

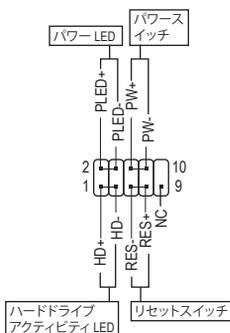
SATAコネクタはSATA3Gb/sに準拠し、SATA1.5Gb/sとの互換性を有しています。それぞれのSATAコネクタは、単一のSATAデバイスをサポートします。



ピン番号	定義
1	GND
2	TXP
3	TXN
4	GND
5	RXN
6	RXP
7	GND

## 8) F\_PANEL (前面パネルヘッダ)

電源スイッチ、リセットスイッチおよびシステム・ステータス・インジケータを下記のピン割り当てに従ってこのヘッダに接続します。接続する際には、+と-のピンに注意してください。



### • PLED (電源LED、黄):

システムステータス	LED
S0	オン
S3/S4/S5	オフ

PCケース前面パネルの電源ステータスインジケータに接続します。システムが作動しているとき、LED はオンになります。システムが S3/S4 スリープ状態に入っているとき、またはパワーがオフになっているとき (S5)、LED はオフになります。

### • PW (パワースイッチ、赤):

PCケース前面パネルの電源ステータスインジケータに接続します。パワースイッチを使用してシステムのパワーをオフにする方法を設定できます (詳細については、第 2 章、「BIOS セットアップ」、「チップセット、」を参照してください)。

### • HD (ハードドライブアクティビティ LED、青):

PCケース前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続します。ハードドライブがデータの読み書きを行っているとき、LED はオンになります。

### • RES (リセットスイッチ、緑):

PCケース前面パネルのリセットスイッチに接続します。コンピュータがフリーズし通常の再起動を実行できない場合、リセットスイッチを押してコンピュータを再起動します。

### • NC (紫): 接続なし。



前面パネルのデザインは、ケースによって異なります。前面パネルモジュールは、パワースイッチ、リセットスイッチ、電源 LED、ハードドライブアクティビティ LED などで構成されています。ケース前面パネルモジュールをこのヘッダに接続しているとき、ワイヤ割り当てとピン割り当てが正しく一致していることを確認してください。

## 9) F\_AUDIO (前面パネルオーディオヘッダ)

前面パネルのオーディオヘッダは、Intel ハイデフィニションオーディオ (HD) と AC'97 オーディオをサポートします。PC ケース前面パネルのオーディオモジュールをこのヘッダに接続することができます。モジュールコネクタのワイヤ割り当てが、マザーボードヘッダのピン割り当てに一致していることを確認してください。モジュールコネクタとマザーボードヘッダ間の接続が間違っていると、デバイスは作動せず損傷することがあります。

HD 前面パネルオーディオの場合: AC'97 前面パネルオーディオの場合:



ピン番号	定義
1	MIC2_L
2	GND
3	MIC2_R
4	-ACZ_DET
5	LINE2_R
6	GND
7	FAUDIO_JD
8	ピンなし
9	LINE2_L
10	GND

ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	MICパワー
4	NC
5	ラインアウト(右)
6	NC
7	NC
8	ピンなし
9	ラインアウト(左)
10	NC



- 前面パネルのオーディオヘッダは、標準で HD オーディオをサポートしています。
- オーディオ信号は、前面と背面パネルのオーディオ接続の両方に同時に流れています。
- PC ケースの中には、前面パネルのオーディオモジュールを組み込んで、単一コネクタの代わりに各ワイヤのコネクタを分離しているものもあります。ワイヤ割り当てが異なっている前面パネルのオーディオモジュールの接続方法の詳細については、PC ケースメーカーにお問い合わせください。

## 10) F\_USB (USB 2.0/1.1 ヘッダ)

ヘッダは USB 2.0/1.1 仕様に準拠しています。各 USB ヘッダは、オプションの USB ブラケットを介して 2 つの USB ポートを提供できます。オプションの USB ブラケットを購入する場合は、販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義	ピン番号	定義
1	電源 (5V)	6	USB DY+
2	電源 (5V)	7	GND
3	USB DX-	8	GND
4	USB DY-	9	ピンなし
5	USB DX+	10	NC



- IEEE 1394 ブラケット (2x5 ピン) ケーブルを USB 2.0/1.1 ヘッダに差し込まないでください。
- USB ブラケットを取り付ける前に、USB ブラケットが損傷しないように、コンピュータの電源をオフにしてからコンセントから電源コードを抜いてください。

## 11) SPDIF\_O (S/PDIFアウトヘッダ)

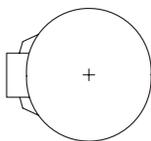
このヘッダはデジタルS/PDIFアウトをサポートし、デジタルオーディオ出力用に、マザーボードからグラフィックスカードやサウンドカードのような特定の拡張カードにS/PDIFデジタルオーディオケーブル (拡張カードに付属) を接続します。例えば、グラフィックスカードの中には、HDMIディスプレイをグラフィックスカードに接続しながら同時にHDMIディスプレイからデジタルオーディオを出力したい場合、デジタルオーディオ出力用に、マザーボードからグラフィックスカードまでS/PDIFデジタルオーディオケーブルを使用するように要求するものもあります。S/PDIFデジタルオーディオケーブルの接続の詳細については、拡張カードのマニュアルをよくお読みください。



ピン番号	定義
1	SPDIFO
2	GND

## 12) BAT (バッテリー)

バッテリーは、コンピュータがオフになっているとき CMOS の値 (BIOS 設定、日付、および時刻情報など) を維持するために、電力を提供します。バッテリーの電圧が低レベルまで下がったら、バッテリーを交換してください。CMOS 値が正確に表示されなかったり、失われる可能性があります。



バッテリーを取り外すと、CMOS 値を消去できます：

1. コンピュータのパワーをオフにし、電源コードを抜きます。
2. バッテリーホルダからバッテリーをそと取り外し、1分待ちます。(または、ドライバーのような金属物体を使用してバッテリーホルダの+と-の端子に触れ、5秒間ショートさせます。)
3. バッテリーを交換します。
4. 電源コードを差し込み、コンピュータを再起動します。



- バッテリーを交換する前に、常にコンピュータのパワーをオフにしてから電源コードを抜いてください。
- バッテリーを同等のバッテリーと交換します。バッテリーを正しくないモデルと交換すると、破裂する恐れがあります。
- バッテリーを交換できない場合、またはバッテリーのモデルがはっきり分からない場合、購入店または販売店にお問い合わせください。
- バッテリーを取り付けるとき、バッテリーのプラス側 (+) とマイナス側 (-) の方向に注意してください (プラス側を上に向ける必要があります)。
- 使用済みのバッテリーは、地域の環境規制に従って処理してください。

### 13) CLR CMOS (CMOSクリアジャンパー)

このジャンパーを使用して BIOS 設定をクリアするとともに、CMOS 値を出荷時設定にリセットします。CMOS値を消去するには、ドライバーのような金属製品を使用して2つのピンに数秒間触れます。

 オープン:Normal

 ショート:CMOSのクリア



- CMOS値を消去する前に、常にコンピュータのパワーをオフにし、コンセントから電源コードを抜いてください。
- システムが再起動した後、BIOS設定を工場出荷時に設定するか、手動で設定してください(Load Optimized Defaults 選択) BIOS 設定を手動で設定します (BIOS 設定については、第 2 章「BIOS セットアップ」を参照してください)。

### 14) CI (ケース開閉感知ヘッダ)

このマザーボードには、PCケースカバーが取り外された場合に検出する PCケース検出機能が搭載されています。この機能には、ケース侵入検出設計を施した PCケースが必要です。



ピン番号	定義
1	信号
2	GND

## 第2章 BIOS セットアップ

BIOS (Basic Input and Output System) は、マザーボード上の CMOS にあるシステムのハードウェアのパラメータを記録します。主な機能には、システム起動、システムパラメータの保存、およびオペレーティングシステムの読み込みなどを行うパワーオンセルフテスト (POST) の実行などがあります。BIOS には、ユーザーが基本システム構成設定の変更または特定のシステム機能の有効化を可能にする BIOS セットアッププログラムが含まれています。

電源をオフにすると、CMOS の設定値を維持するためマザーボードのバッテリーが CMOS に必要な電力を供給します。

BIOS セットアッププログラムにアクセスするには、電源オン時の POST 中に <Delete> キーを押します。BIOS をアップグレード場合は、Windows ベースのユーティリティで GIGABYTE @BIOS ユーティリティを使用します。インターネット上から最新バージョンの BIOS をダウンロードして更新して下さい。



- BIOS の更新は潜在的に危険を伴うため、BIOS の現在のバージョンを使用しているときに問題が発生していない場合、BIOS を更新しないことをお勧めします。BIOS の更新は注意して行ってください。BIOS の不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。
- システムの不安定またはその他の予期しない結果を防ぐために、初期設定を変更しないことをお勧めします (必要な場合を除く)。誤った BIOS 設定は、システムは起動できません。そのようなことが発生した場合は、CMOS 値を既定値にリセットしてみてください。(CMOS 値を消去する方法については、この章の「Restore Defaults」セクションまたは第1章にあるバッテリーまたは CMOS ジャンパの消去の概要を参照してください。)

### 2-1 起動画面

コンピュータが起動するとき、次の起動ロゴ画面が表示されます。



## 2-2 メインメニュー

BIOS セットアッププログラムに入ると、(以下に表示されたように) メインメニューがスクリーンに表示されます。矢印キーでアイテム間を移動し、<Enter> を押してアイテムを受け入れるか、サブメニューに入ります。

### メインメニューのヘルプ

ハイライト表示された設定オプションのオンスクリーンの説明は、メインメニューの一番下の行に表示されます。

### サブメニューのヘルプ

サブメニューの中にある<F1>を押して、メニューに利用可能なファンクションキーのヘルプスクリーン(ヘルプ一般)を表示して下さい。<Esc>を押してヘルプ画面を終了します。各項目のヘルプは、サブメニューの右側のアイテムヘルプブロックにあります。

(サンプル BIOS バージョン:GA-J1900N-D2H F1c)



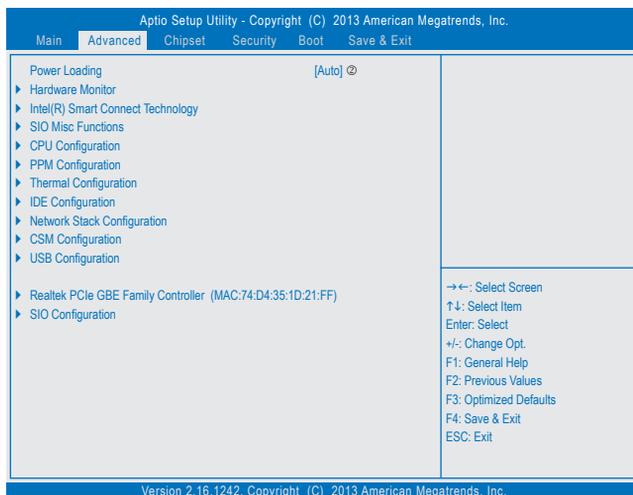
- システムが安定しないときは、**Restore Defaults** を選択してシステムをその既定値に設定します。
- 本章で説明された BIOS セットアップメニューは参考用です、項目は、BIOS のバージョンにより異なります。

Aptio Setup Utility - Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.					
Main	Advanced	Chipset	Security	Boot	Save & Exit
BIOS Information					
BIOS ID	8A05AG07				
Project Name	J1900N-D2H				
BIOS Version	F1c				
Build Date and Time	04/07/2014 14:46:18				
Memory Information					
Total Memory	2048 MB (LPDDR3)				
System Language	[English]				
System Date	[Fri 04/11/2014]		→←: Select Screen ↑↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit		
System Time	[17:53:46]				
Access Level	Administrator				
Version 2.16.1242. Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.					

このセクションでは、マザーボードモデルおよびBIOSバージョンの情報を表示します。また、BIOSが使用する既定の言語を選択して手動でシステム時計を設定することもできます。

- System Language**  
BIOS が使用する既定の言語を選択します。
- System Date**  
システムの日付を設定します。<Tab> で Month (月)、Date (日)、および Year (年) フィールドを切り替え、<+> キーと <-> キーで設定します。
- System Time**  
システムの時計を設定します。時計の形式は時、分、および秒です。例えば、1 p.m. は 13:0:0 です。<Tab> で Hour (時間)、Minute (分)、および Second (秒) フィールドを切り替え、<+> キーと <-> キーで設定します。
- Access Level**  
使用するパスワード保護のタイプによって現在のアクセス レベルを表示します。(パスワードが設定されていない場合、既定では **Administrator** (管理者) として表示されます。)管理者レベルでは、すべての BIOS 設定を変更することが可能です。ユーザー レベルでは、すべてではなく特定の BIOS 設定のみが変更できます。

## 2-3 Advanced (アドバンスド)



- ② **Power Loading**  
ダミーローディング機能の有効/無効を切り替えます。パワーサプライユニットのローディングが低いためにシステムのシャットダウンや起動に失敗する場合は、有効に設定してください。**Auto**では、BIOSがこの設定を自動的に設定します。(既定値:Auto)
- ▶ **H/W Monitor**
- ② **CPU Temperature (DTS)/System Temperature**  
現在のCPUシステムの温度を表示します。
- ② **CPU/System Fan Speed**  
現在のCPUシステムパワーファン速度を表示します。
- ② **Vcore/VCC3/+12V/VCC/CPU\_VAXG/3VDUAL/DDR1\_35VIO**  
現在のシステム電圧を表示します。
- ▶ **Intel(R) Smart Connect Technology**
- ② **ISCT Support**  
Intel® Smart Connect Technology の有効/無効を切り替えます。(既定値:Disabled)
- ▶ **SIO Misc Functions**
- ② **ErP**  
S5 (シャットダウン) 状態でシステムの消費電力を最小に設定します。(既定値:Disabled)  
注:このアイテムを**Enabled**に設定すると、次の機能が使用できなくなります。PME イベントからの起動、マウスによる電源オン、キーボードによる電源オン、LAN からの起動。
- ② **Case Open**  
マザーボードの CI ヘッドに接続されたケース開閉の検出状態を表示します。システムケースのカバーが外れている場合、このフィールドが「Open」になります。そうでない場合は「Close」になります。ケースの開閉状態の記録を消去したい場合は、**Reset Case Open Status** を **Enabled** にして、設定を CMOS に保存してからシステムを再起動します。

② GA-J1900N-D2Hのみ。

- **Reset Case Open Status**
  - ▶ Disabled 過去のケース開閉状態の記録を保持または消去します。(既定値)
  - ▶ Enabled 過去のケース開閉状態の記録をクリアします。次回起動時、**Case Open** フィールドに「Close」と表示されます。
- ▶ **CPU Configuration**
- ▶ **Socket 0 CPU Information**

このセクションでは、お使いのCPU、周波数、キャッシュメモリーについての情報を表示します。
- **Limit CPUID Maximum**

CPUID 最大値の制限設定を行います。Windows XP ではこのアイテムを**Disabled** に設定し、Windows NT4.0 など従来のオペレーティングシステムでは **Enabled** に設定します。(既定値: Disabled)
- **Execute Disable Bit**

Intel® Execute Disable Bit (Intelメモリ保護) 機能の有効/無効を切り替えます。この機能は、コンピュータの保護を拡張して、サポートするソフトウェアおよびシステムと一緒に使用することでウィルスの放出および悪意のあるバッファのオーバーフロー攻撃を減少させることができます。(既定値: Enabled)
- **Hardware Prefetcher**

L2 キャッシュ ハードウェア プリフェッチャーを有効にするか、または無効にします。(既定値: Enabled)
- **Adjacent Cache Line Prefetch**

メモリからL2キャッシュラインへ対象データをフェッチするとき、隣接するデータもフェッチする機能の有効/無効を設定する。(既定値: Enabled)
- **Intel Virtualization**

Intel® Virtualization テクノロジーの有効/無効を切り替えます。Intel®仮想化技術によって強化されたプラットフォームは独立したパーティションで複数のオペレーティングシステムとアプリケーションを実行できます。仮想化技術では、1つのコンピュータシステムが複数の仮想化システムとして機能できます。(既定値: Enabled)
- **Power Technology**

Intel®電力管理機能を行えるようになります。(既定値: Energy Efficient)
- ▶ **PPM Configuration**
- **CPU C state Report**

CPUの節電機能のサポートを有効にするか、または無効にします。(既定値: Enabled)
- **Enhanced C state**

システム一時停止状態時の省電力機能で、Intel® CPU Enhanced Halt (C1E) 機能の有効/無効を切り替えます。有効になっているとき、CPUコア周波数と電圧は下げられ、システムの停止状態の間、消費電力を抑えます。CPU C state Report が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。(既定値: Enabled)
- **Max CPU C-state**

CPUがサポートする最大値のCステータスを選択する事ができます。以下のオプションがあります。C6、C1(既定値)。CPU C state Report が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。
- ▶ **Thermal Configuration**
- **DTS**

CPU過熱保護機能の有効/無効を切り替えます。(既定値: Disabled)
- **Critical Trip Point**

CPUの温度のしきい値を設定することができます。CPU温度がこの値に達した場合、オペレーティングシステムは、自動でシステムをシャットダウンします。**DTS** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。(既定値: 100 C)
- **Passive Trip Point**

CPUの温度のしきい値を設定することができます。CPU温度がこの値に達すると、CPU周波数は自動的に低減されます。**DTS** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。(既定値: 85 C)

## ▶ IDE Configuration

### ⊖ Serial-ATA (SATA)

統合されたSATAコントローラーの有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)

### ⊖ SATA Mode

チップセットに統合された SATAコントローラーをAHCIモードに構成するかどうかを決定します。**Serial-ATA(SATA)** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

▶ IDE Mode SATA コントローラーの RAID を無効にし、SATA コントローラーを IDE モードに構成します。

▶ AHCI Mode SATAコントローラーを AHCI モードに構成します。Advanced Host Controller Interface (AHCI) は、ストレージドライバが NCQ (ネイティブ・コマンド・キューイング) およびホットプラグなどの高度なシリアルATA機能を有効にできるインターフェイス仕様です。(既定値)

### ⊖ Serial-ATA Port 0/Serial-ATA Port 1

各SATAポートを有効または無効にします。**Serial-ATA (SATA)** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。以下の領域には、2つのSATAポートの現在のステータスが表示されています。

### ⊖ SATA Port0 HotPlug/SATA Port1 HotPlug

各SATAポートのホットプラグ機能を有効または無効にします。(既定値: Disabled)

## ▶ Network Stack Configuration

### ⊖ Network Stack

Windows Deployment ServicesサーバーのOSのインストールなど、GPT形式のOSをインストールするためのネットワーク起動の有効/無効を切り替えます。(既定値: Disabled)

### ⊖ Ipv4 PXE Support

IPv4 PXEサポートの有効/無効を切り替えます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

### ⊖ Ipv6 PXE Support

IPv6 PXEサポートの有効/無効を切り替えます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

## ▶ CSM Configuration

### ⊖ CSM Support

従来のPC起動プロセスをサポートするには、UEFI CSM (Compatibility Software Module) を有効または無効にします。

▶ Enabled UEFI CSMを有効にします。(既定値)

▶ Disabled UEFI CSMを無効にし、UEFI BIOS起動プロセスのみをサポートします。

### ⊖ Boot option filter

起動するオペレーティングシステム種別が選択できます。

▶ UEFI and Legacy 従来のオプションROMまたはUEFIのオプションROMをサポートするオペレーティングシステムから起動できます。(既定値)

▶ Legacy only 従来のオプションROMのみをサポートするオペレーティングシステムから起動できます。

▶ UEFI only UEFIのオプションROMのみをサポートするオペレーティングシステムから起動できます。

**CSM Support** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

### ⊖ Network

LANコントローラーについて、UEFIまたはレガシーのオプションROMを有効にするかを選択できます。

▶ Do not launch オプションROMを無効にします。(既定値)

▶ UEFI only UEFIのオプションROMのみを有効にします。

▶ Legacy only レガシーのオプションROMのみを有効にします。

▶ Legacy First レガシーのオプションROMを先に有効にします。

▶ UEFI First UEFIのオプションROMを先に有効にします。

**CSM Support** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

## Storage

ストレージデバイスコントローラーについて、UEFIまたはレガシーのオプションROMを有効にするかを選択できます。

- ▶ Do not launch オプションROMを無効にします。
- ▶ UEFI only UEFIのオプションROMのみを有効にします。
- ▶ Legacy only レガシーのオプションROMのみを有効にします。(既定値)
- ▶ Legacy First レガシーのオプションROMを先に有効にします。
- ▶ UEFI First UEFIのオプションROMを先に有効にします。

**CSM Support** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

## Video

グラフィックスコントローラーについて、UEFIまたはレガシーのオプションROMを有効にするかを選択できます。

- ▶ Do not launch オプションROMを無効にします。
- ▶ UEFI only UEFIのオプションROMのみを有効にします。
- ▶ Legacy only レガシーのオプションROMのみを有効にします。(既定値)
- ▶ Legacy first レガシーのオプションROMを先に有効にします。
- ▶ UEFI first UEFIのオプションROMを先に有効にします。

**CSM Support** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

## Other PCI Device ROM Priority

LAN、ストレージデバイス、およびグラフィックスROMなどを起動させる設定ができます。UEFIまたはレガシーのオプションROMを有効にするかを選択できます。

- ▶ UEFI First UEFIのオプションROMのみを有効にします。(既定値)
- ▶ Legacy only レガシーのオプションROMのみを有効にします。

**CSM Support** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を設定できます。

## USB Configuration

### Legacy USB Support

USB キーボード/マウスを MS-DOS で使用できるようにします。(既定値: Enabled)

### USB3.0 Support

USB 3.0 コントローラーの有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)

### XHCI Hand-off

XHCI ハンドオフのサポートなしでオペレーティングシステムの XHCI ハンドオフ機能を有効にするかを決定します。(既定値: Enabled)

### EHCI Hand-off

EHCI ハンドオフのサポートなしでオペレーティングシステムの EHCI ハンドオフ機能を有効にするかを決定します。(既定値: Disabled)

### USB Mass Storage Driver Support

USBストレージデバイスの有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)

### USB Storage Devices

接続された USB 大容量デバイスのリストを表示します。この項目は、USBストレージデバイスがインストールされた場合のみ表示されます。

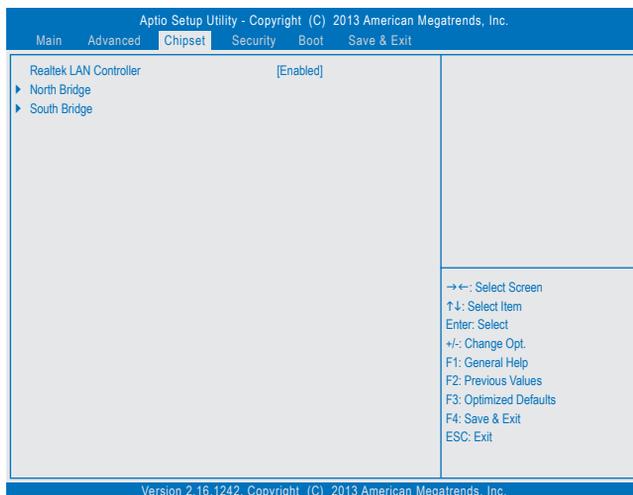
## Realtek PCIe GBE Family Controller

このサブメニューは、LAN 構成と関連する構成オプションの情報を提供します。

## SIO Configuration

このセクションでは、スーパー I/O チップ上の情報を提供し、シリアルポートとパラレルポートを設定します。

## 2-4 Chipset (チップセット)



### ☞ Realtek LAN Controller

オンボードLAN機能の有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)  
オンボードLANを使用する代わりに、サードパーティ製増設用ネットワークカードをインストールする場合、この項目を**Disabled**に設定します。

### ▶ North Bridge

このセクションでは、インストールされているメモリサイズとメモリオンボードグラフィックス関連の設定オプションに関する情報を提供します。

### ▶ Intel IGD Configuration

このセクションでは、オンボードのグラフィックス関連の設定オプションが用意されています。

### ☞ MAX TOLUD

最大TOLUD値を設定することができます。(既定値: Dynamic)

### ▶ South Bridge

### ▶ USB Configuration

このセクションでは、USBコントローラー用の設定オプションが用意されており、特定の機能のサポートを有効/無効などに設定できます。

### ▶ PCI Express Configuration

このセクションでは、PCI Expressバス用の設定オプションが用意されており、特定のPCI Expressバスの速度の設定を有効/無効などに設定できます。

### ☞ Audio Controller

オンボードオーディオ機能の有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)  
オンボードオーディオを使用する代わりに、サードパーティ製拡張オーディオカードをインストールする場合、この項目を **Disabled** に設定します。

### ☞ High Precision Timer

High Precision Event Timer (HPET) の有効/無効を切り替えます。(既定値: Enabled)

### Restore AC Power Loss

AC 電源損失から電源復帰した後のシステム状態を決定します。

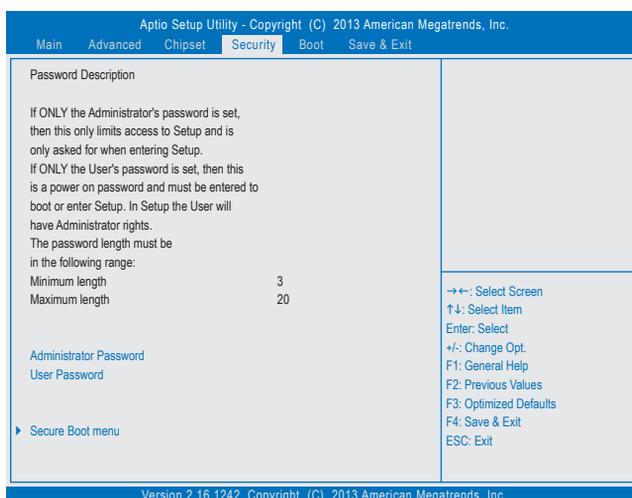
- ▶▶ Power Off AC 電源が戻ってもシステムの電源はオフのままです。(既定値)
- ▶▶ Power On AC 電源が戻るとシステムの電源はオンになります。
- ▶▶ Last State AC 電源が戻ると、システムは既知の最後の稼働状態に戻ります。

### Soft-Off by PWR-BTTN

電源ボタンで MS-DOS モードのコンピュータの電源をオフにする設定をします。

- ▶▶ Instant-Off 電源ボタンを押すと、システムの電源は即時にオフになります。(既定値)
- ▶▶ Delay 4 Sec. パワーボタンを 4 秒間押し続けると、システムはオフになります。パワーボタンを押して 4 秒以内に放すと、システムはサスペンドモードに入ります。

## 2-5 Security (セキュリティ)



### Administrator Password

管理者パスワードの設定が可能になります。この項目で <Enter> を押し、パスワードをタイプし、続いて <Enter> を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワードをタイプして、<Enter> を押します。システム起動時および BIOS セットアップに入るときは、管理者パスワード (またはユーザーパスワード) を入力する必要があります。ユーザーパスワードと異なり、管理者パスワードではすべての BIOS 設定を変更することが可能です。

### User Password

ユーザーパスワードの設定が可能になります。この項目で <Enter> を押し、パスワードをタイプし、続いて <Enter> を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワードをタイプして、<Enter> を押します。システム起動時および BIOS セットアップに入るときは、管理者パスワード (またはユーザーパスワード) を入力する必要があります。しかし、ユーザーパスワードでは、変更できるのはすべてではなく特定の BIOS 設定のみです。

パスワードをキャンセルするには、パスワード項目で <Enter> を押します。パスワードを求められたら、まず正しいパスワードを入力します。新しいパスワードの入力を求められたら、パスワードに何も入力しないで <Enter> を押します。確認を求められたら、再度 <Enter> を押します。

## ▶ Secure Boot menu

### ⌞ System Mode

現在のシステムモードを表示します。

### ⌞ Secure Boot

現在のセキュアブート状態を表示します。

### ⌞ Secure Boot

セキュアブート機能を有効または無効にします。セキュアブートは、信頼されるファームウェアのみを使ってPCが起動されるようにします。システムは Windows 8.1/8 がロードされる前にロードされているすべてのファイルを認識し、改ざんされていないログイン画面に到達します。(既定値: Disabled)

### ⌞ Secure Boot Mode

セキュアブートモードを設定することができます。(既定値: Custom)

## ▶ Key Management

このセクションでは、セキュアブートの管理するためのオプションが用意されています。

## 2-6 Boot



### ⌞ Setup Prompt Timeout

BIOSセットアッププロンプト画面で待機する時間を秒単位で設定できます。(既定値: 6)

### ⌞ Bootup NumLock State

POST後にキーボードの数字キーボードにある NumLock 機能の有効/無効を切り替えます。(既定値: On)

### ⌞ Full Screen LOGO Show

システム起動時に、GIGABYTEロゴの表示設定をします。Disabled にすると、システム起動時に GIGABYTE ロゴをスキップします。(既定値: Enabled)

### ⌞ Fast Boot

Fast Boot を有効または無効にして OS の起動処理を短縮します。(既定値: Disabled)

#### ☞ **VGA Support**

起動するオペレーティングシステム種別が選択できます。

- ▶▶ Auto 従来のオプション ROM のみを有効にします。
- ▶▶ EFI Driver EFI オプション ROM を有効にします。(既定値)

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

#### ☞ **USB Support**

- ▶▶ Disabled OS ブートプロセスが完了するまで、全 USB デバイスは無効になっています。
- ▶▶ Full Initial オペレーティングシステムおよび POST 中は、全 USB デバイスは機能します。
- ▶▶ Partial Initial OS ブートプロセスが完了するまで、一部の USB デバイスは無効になっています。(既定値)

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

#### ☞ **PS2 Devices Support**

- ▶▶ Disabled OS ブートプロセスが完了するまで、全 PS/2 デバイスは無効になっています。
- ▶▶ Enabled オペレーティングシステムおよび POST 中は、全 PS/2 デバイスは機能します。(既定値)

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

#### ☞ **NetWork Stack Driver Support**

- ▶▶ Disabled ネットワークからのブートを無効にします。(既定値)
- ▶▶ Enabled ネットワークからのブートを有効にします。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

#### ☞ **Boot Option #1/2/3**

使用可能なデバイスから全体の起動順序を指定します。例えば、ハードドライブを優先度 1 (**Boot Option #1**) に設定し、DVD ROM ドライブを優先度 2 (**Boot Option #2**) に設定します。リストは、認識されているデバイスの優先度が高い順を表示します。例えば、**Hard Drive BBS Priorities** サブメニューで優先度 1 と設定されたハードドライブのみがここに表示されます。

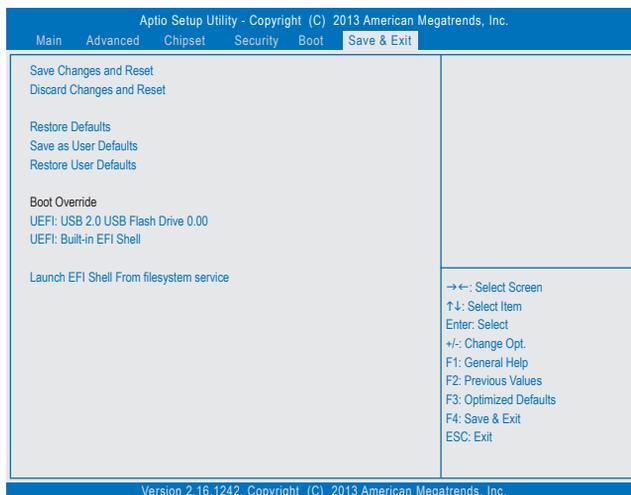
起動デバイスリストでは、GPT 形式をサポートするリムーバブルストレージデバイスの前に「UEFI:」が付きます。GPT パーティショニングをサポートするオペレーティングシステムから起動するには、前に「UEFI:」が付いたデバイスを選択します。

また、Windows 7 (64 ビット) など GPT パーティショニングをサポートするオペレーティングシステムをインストールする場合は、Windows 7 (64 ビット) インストールディスクを挿入し前に「UEFI:」が付いた光学ドライブを選択します。

#### ☞ **Hard Drive/CD/DVD ROM Drive/Floppy Drive/Network Device BBS Priorities**

ハードドライブ、光ドライブ、フロッピーディスクドライブ、LAN 機能からの起動をサポートするデバイスなど特定のデバイスタイプの起動順序を指定します。このアイテムで <Enter> を押すと、接続された同タイプのデバイスを表すサブメニューに入ります。上記タイプのデバイスが 1 つでもインストールされていれば、この項目は表示されます。

## 2-7 Save & Exit (保存して終了)



- ☞ **Save Changes and Reset**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択します。これにより、CMOS の変更が保存され、BIOS セットアッププログラムを終了します。**No** を選択するかまたは <Esc> を押し、BIOS セットアップのメインメニューに戻ります。
- ☞ **Discard Changes and Reset**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択します。これにより、CMOS に対して行われた BIOS セットアップへの変更を保存せずに、BIOS セットアップを終了します。**No** を選択するかまたは <Esc> を押し、BIOS セットアップのメインメニューに戻ります。
- ☞ **Restore Defaults**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択して BIOS の出荷時の初期設定を読み込みます。BIOS の初期設定は、システムが最適な状態で稼働する手助けをします。BIOS のアップデート後または CMOS 値の消去後には必ず最適な初期設定を読み込みます。
- ☞ **Save as User Defaults**  
ユーザー定義のデフォルト設定など、現在の BIOS 設定に保存します。
- ☞ **Restore User Defaults**  
すべての BIOS オプションについては、ユーザー定義のデフォルト設定をロードします。
- ☞ **Boot Override**  
直ちに起動するデバイスを選択できます。選択したデバイスで <Enter> を押し、**Yes** を選択して確定します。システムは自動で再起動してそのデバイスから起動します。
- ☞ **Launch EFI Shell From filesystem service**  
使用可能なファイルシステムの装置の一つから、EFI シェルアプリケーション (shell.efi) を起動することができます。このオプションの <Enter> を押し、システムは自動的に EFI シェル画面に再起動されます。

## 第3章 付録

### ドライバのインストール



- ドライバをインストールする前に、まずオペレーティングシステムをインストールします。(以下の指示は、例として Windows 8.1 オペレーティングシステムを使用します。)
- オペレーティングシステムをインストールした後、マザーボードのドライバディスクを光学ドライブに挿入します。画面右上隅のメッセージ「このディスクの操作を選択するにはタップしてください」をクリックし、「Run.exe の実行」を選択します。(またはマイコンピュータで光学ドライブをダブルクリックし、Run.exe プログラムを実行します。)

ドライバディスクを挿入すると、「Xpress Install」がシステムを自動的にスキャンし、インストールに推奨されるすべてのドライバをリストアップします。**Install All** ボタンをクリックすると、「Xpress Install」が推奨されたすべてのドライバをインストールします。または、**Install Single Items** をインストールしてインストールするドライバを手動で選択します。

## 規制声明

### 規制に関する注意

この文書は、当社の書面による許可なしにコピーできません、また内容を第三者への開示や不正な目的で使用することはできず、違反した場合は起訴されることとなります。当社はここに記載されている情報は印刷時にすべての点で正確であるとし、しかしこのテキスト内の誤りまたは脱落に対してGIGABYTEは一切の責任を負いません。また本文書の情報は予告なく変更することがありますが、GIGABYTE社による変更の確約ではありません。

### 環境を守ることに對する当社の約束

高効率パフォーマンスだけでなく、すべてのGIGABYTEマザーボードはRoHS（電気電子機器に関する特定有害物質の制限）とWEEE（廃電気電子機器）環境指令、およびほとんどの主な世界的安全要件を満たしています。環境中に有害物質が解放されることを防ぎ、私たちの天然資源を最大限に活用するために、GIGABYTEではあなたの「耐用年数を経た」製品のほとんどの素材を責任を持ってリサイクルまたは再使用するための情報を次のように提供します。

### RoHS(危険物質の制限)指令声明

GIGABYTE製品は有害物質(Cd, Pb, Hg, Cr+6, PBDE, PBB)を追加する意図はなく、そのような物質を避けています。部分とコンポーネントRoHS要件を満たすように慎重に選択されています。さらに、GIGABYTEは国際的に禁止された有毒化学薬品を使用しない製品を開発するための努力を続けています。

### WEEE(廃電気電子機器)指令声明

GIGABYTEは2002/96/EC WEEE(廃電気電子機器)の指令から解釈されるように国の法律を満たしています。WEEE指令は電気電子デバイスとそのコンポーネントの取り扱い、回収、リサイクル、廃棄を指定します。指令に基づき、中古機器はマークされ、分別回収され、適切に廃棄される必要があります。

### WEEE記号声明



以下に示した記号が製品にあるいは梱包に記載されている場合、この製品を他の廃棄物と一緒に廃棄してはいけません。代わりに、デバイスを処理、回収、リサイクル、廃棄手続きを行うために廃棄物回収センターに持ち込む必要があります。廃棄時に廃機器を分別回収またはリサイクルすることにより、天然資源が保全され、人間の健康と環境を保護するやり方でリサイクルされることが保証されます。リサイクルのために廃機器を持ち込むことのできる場所の詳細については、最寄りの地方自治体事務所、家庭ごみ廃棄サービス、また製品の購入店に環境に優しい安全なリサイクルの詳細をお尋ねください。

- 電気電子機器の耐用年数が過ぎたら、最寄りのまたは地域の回収管理事務所に「戻し」リサイクルしてください。
- 耐用年数を過ぎた製品のリサイクルや再利用についてさらに詳しいことをお知りになりたい場合、製品のユーザーマニュアルに記載の連絡先にお問い合わせください。できる限りお客様のお力になれるように努めさせていただきます。

最後に、本製品の省エネ機能を理解して使用し、また他の環境に優しい習慣を身につけて、本製品購入したときの梱包の内装と外装（運送用コンテナを含む）をリサイクルし、使用済みバッテリーを適切に廃棄またはリサイクルすることをお勧めします。お客様のご支援により、当社は電気電子機器を製造するために必要な天然資源の量を減らし、「耐用年数の過ぎた」製品の廃棄のための埋め立てごみ処理地の使用を最小限に抑え、潜在的な有害物質を環境に解放せず適切に廃棄することで、生活の質の向上に貢献いたします。







## 連絡先

---

### GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

アドレス:No.6, Bao Chiang Road, Hsin-Tien Dist., New Taipei City 231,Taiwan

TEL:+886-2-8912-4000、ファックス+886-2-8912-4005

技術および非技術。サポート(販売/マーケティング): <http://ggs.gigabyte.com.tw>

WEBアドレス(英語): <http://www.gigabyte.com>

WEBアドレス(中国語): <http://www.gigabyte.tw>

---

GIGABYTE Webサイトにアクセスし、Webサイトの右上にある言語リストで言語を選択することができます。

### • GIGABYTEグローバルサービスシステム

**GIGABYTE**  **GTS** Global Technical Service

Welcome to GIGABYTE Service system. If you are a GIGABYTE Passport member, please login with your membership E-Mail address and password. Otherwise, you can simply enter E-Mail address to login.

✉ Your Email:

Your Password:  [Forgot password](#)

English 繁體中文 Deutsch 简体中文  
Français Polski Español

技術的または技術的でない (販売/マーケティング) 質問を送信するには:  
<http://ggs.gigabyte.com.tw>  
にアクセスし、言語を選択してシステムに入ってください。